



10月30日に青森市で行われた第75回全日本合唱コンクール全国大会中学校同声の部において、本校特設合唱部女声の皆さんが銀賞を受賞しました。同部には全国9支部の代表21校が参加、自由曲(8分以内)のみの発表で競いました。本校は無伴奏の宗教曲3曲を完成度高く歌い上げ、会場から万雷の拍手を受けました。会場で聞いていた私も思わず聞き入り、曲の世界に引き込まれてしまいました。結果は銀賞で、生徒達が目指していた「2年連続金賞」とはなりませんでしたが、全国の舞台で実力を発揮できたのは、日頃の努力の賜物と感心しました。本大会の主催者でもある朝日新聞の音楽専門記者の評論には、「矢巾北の人間の聖俗の感情のすべてを表現し尽くすかのような緻密でふくよかな歌唱は圧巻と言うほかない。」と、本校の合唱を高く評価してくださる文章が載っており、専門家も認める歌声であったことがわかります。大会に向け、寸暇を惜しんで練習に取り組んで来た生徒の皆さん、それを支えていただいた保護者の皆さん、大変お疲れ様でした。今回の発表で3年生は一応引退となりますが、この後も出演依頼のあるステージが控えていますので、皆さんの歌声を待ち望んでいる町内、県内の方々に全国レベルの歌声を届けてあげてください。



## 津軽石中の皆さん 北中によろこそ!

昨年まで2年間、復興教育の一環として交流のあった津軽石中学校の3年生が、修学旅行の行程の1つとして本校を訪問し、3年生と合唱を通して交流しました。過去2年間の交流を見てきた津

軽石中の3年生から、「今年も北中と交流したい」と強い要望があり、修学旅行先が県内に変更になったことを機に実現したものです。会では前半にパート練習のワークショップがあり、その後にそれぞれの学校の紹介と歌声披露がありました。津軽石中の代表の生徒さんからは、「北中の歌声から学ぶものが多かった。」と感謝の言葉が述べられました。来年度以降も長く続く交流になることを望みます。